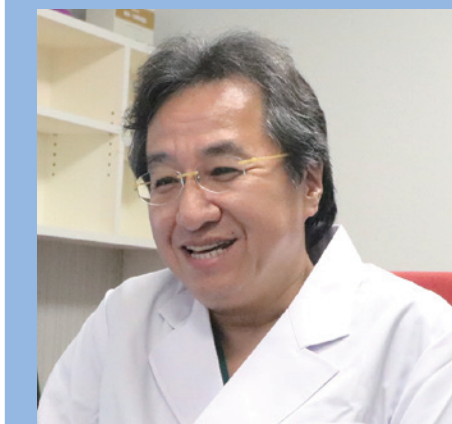


整形外科

脊柱側弯症と姿勢不良

中高生によく見られる猫背の多くは姿勢不良であり、側弯（そくわん）症ではありません。真の側弯症とは背骨そのものが側方に弯曲しながらねじれるように曲がっている状態で、構築性側弯ともいわれ、自分の意思で曲がりを正すことはできません。しかし、まれに見られる、成長に伴い側弯が進行する思春期特発性側弯症は、この構

築性側弯に当たるため病院での治療が必要です。一方、中高年になってから、加齢による椎間板変性や椎体変形を契機に徐々に出現してくるのが変性側弯症です。これも構築性側弯の一種ですが、姿勢を以前のようには正そうと正確な状況を把握せずに過度のマッサージや矯正施術を行うことは危険です。進行すると脊椎すべり症や脊柱管狭窄（きょうさく）症に移行す



田中 英俊

■ 整形外科

新ゆり整形外科



☎044-955-1154
麻生区上麻生1-3-5
ドレイクビル2F
<http://shinyuri-seikeigeka.com/>

ることが多く、慢性腰痛や下肢痛の原因にもなり得ます。この数年で姿勢不良が徐々に増悪している人は、一度病院でチェックを受けることをおすすめします。